

経営比較分析表（令和6年度決算）

青森県 南部町

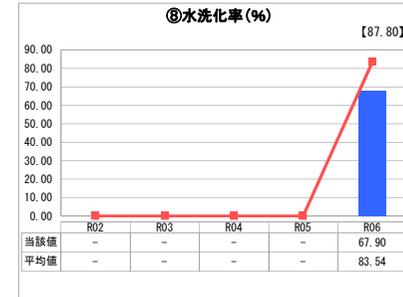
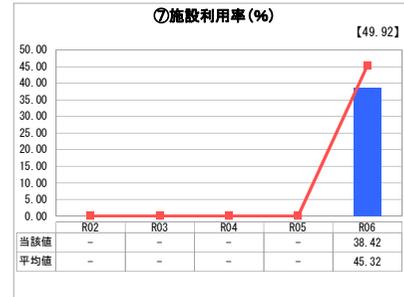
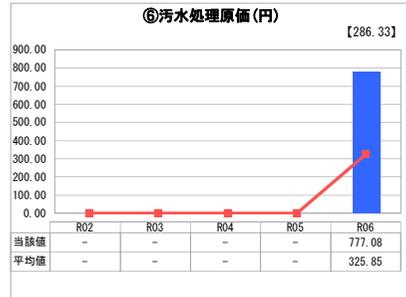
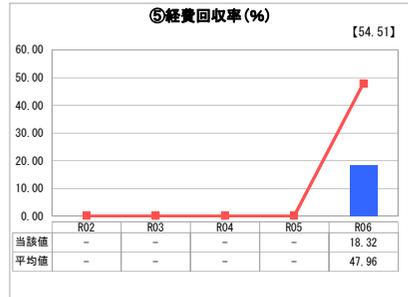
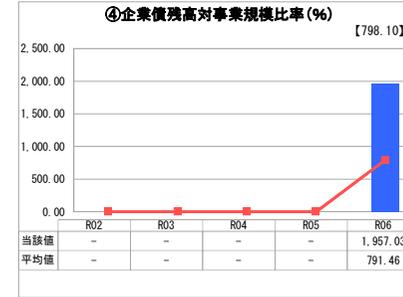
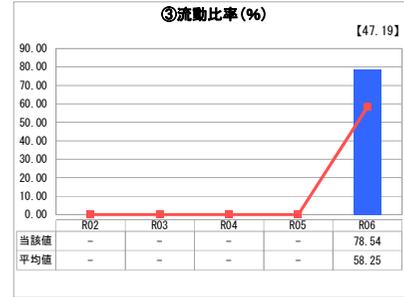
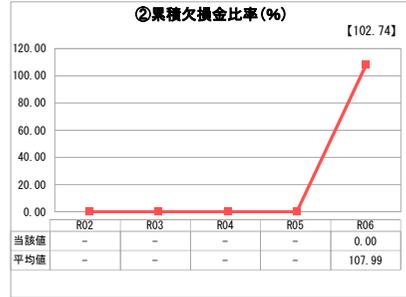
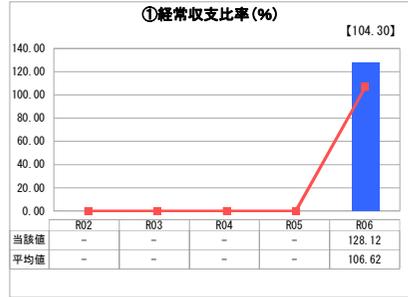
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.79	34.50	91.16	2,480

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,185	153.12	105.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,533	5.17	1,070.21

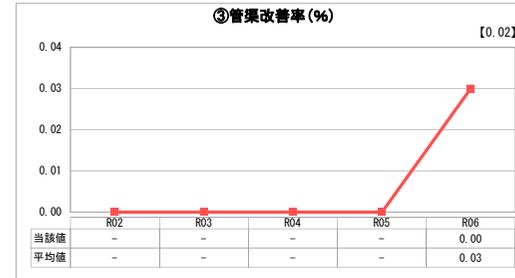
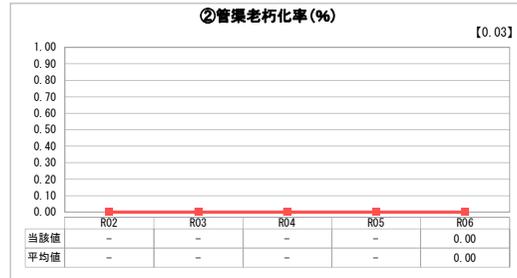
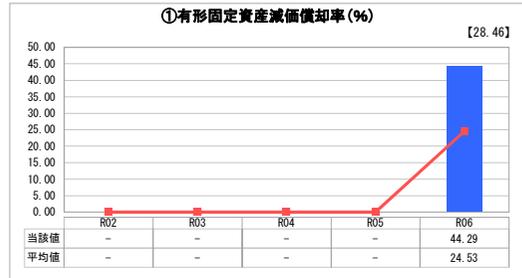
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、前年度と比較して改善傾向にあるが、人口減少による料金収入の低迷と排水処理施設管理費用の増加により、料金収入のみでは賄い切れず、他会計繰入金に依存している状況である。

経費回収率および汚水処理原価についても、物価高騰による費用の上昇により前年度と比較して悪化傾向にあり、全国平均値や類似団体平均値を大幅に下回った。

施設利用率および水洗化率については、高齢者世帯が多いことによる経済的理由等により、下水道の新規加入者が少なく平均値を大きく下回っている。経営を安定させるためには、下水道加入促進や下水道使用料金増額の検討、適正な維持管理運営による汚水処理原価の抑制、施設利用率の向上を目標に長期的に収支の均衡を図っていくことが求められる。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、現在低い水準である。耐用年数を超える管渠は、数十年先であり、定期点検等により更新が必要な管渠は特に見当たらない。

しかし、処理場機械電気設備およびマンホールポンプについては、水処理の過程において一部不具合が生じたことから、更新をしている。

今後は、耐用年数を超え老朽化していく施設が増加すると想定されるため、機能診断および整備構想による効率的な調査点検、適正な維持管理が必要である。

全体総括

施設利用率、水洗化率の平均値を下回っているのは、人口減少と加入者の低迷が主な要因と考える。

また、排水処理施設の経年の稼働により修繕費が物価高等により増加傾向にあり、他会計繰入金に依存している状況である。

今後は、下水道への加入促進による接続率の向上、下水道使用料金増額の検討、機能診断および整備構想による効率的な調査点検、適正な維持管理運営により、平均値に近づけていけるよう努め、資産や収支の状況をより精緻な数値で把握して健全で効率的な事業経営に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。